

3部

6月
科目修了試験の
ご案内

1 // 6月科目修了試験の実施日時・会場

平成25年度第2回科目修了試験を下記日時・会場で実施いたします。会場の地図は『試験・スクーリング 情報ブック』2013年版 p. 172～188をご覧ください。

2013年6月15日(土) 13:30集合 13:45開始

仙台・釧路・旭川・盛岡・宮古・秋田・郡山・水戸・川口・
長岡・大阪・広島・那覇

2013年6月16日(日) 9:45集合 10:00開始

札幌・弘前・山形・宇都宮・東京・新潟・福岡

2013年6月16日(日) 14:45集合 15:00開始

仙台(特) ※当日の「基礎演習」「家族法」スクーリング受講者
のみ受験可

●実施会場一覧

| 都市名 | 実施日 | 会場名 | 地図 |
|-------|---------------|---|-----------------|
| 仙台 | 6/15 13:30 | 東北福祉大学 1号館6階大教室 | 情報ブック p. 172 |
| 仙台(特) | 6/16 14:45 | 東北福祉大学 1号館3階130教室 (※当日のスクーリング受講者のみ受験可) | |
| 札幌 | 6/16 9:45 | 札幌市教育部文化会館 4階講堂 | 情報ブック p. 174 |
| 釧路 | 6/15 13:30 | 釧路市生涯学習センター 8階会議室802 | 情報ブック p. 174 |
| 旭川 | 6/15 13:30 | 旭川市ときわ市民ホール 4階多目的ホール1・2 | 情報ブック p. 175 |

| 都市名 | 実施日 | 会場名 | 地図 |
|-----|---------------|------------------------|-----------------|
| 弘前 | 6/16 9:45 | 弘前商工会議所 2階201室 | 情報ブック p. 176 |
| 盛岡 | 6/15 13:30 | 岩手教育会館 2階第1会議室 | 情報ブック p. 177 |
| 宮古 | 6/15 13:30 | シーアリーナ 3階大会議室 | 情報ブック p. 178 |
| 秋田 | 6/15 13:30 | 秋田県生涯学習センター 5階第3研修室 | 情報ブック p. 178 |
| 山形 | 6/16 9:45 | 学校法人 明德学園 2階24教室 | 情報ブック p. 179 |
| 郡山 | 6/15 13:30 | 郡山女子大学 62年館 3階631教室 | 情報ブック p. 180 |
| 水戸 | 6/15 13:30 | 茨城県立青少年会館 2階小研修室 | 情報ブック p. 182 |
| 宇都宮 | 6/16 9:45 | 栃木県総合文化センター 3階第4会議室 | 情報ブック p. 182 |
| 川口 | 6/15 13:30 | リリア 11階大会議室 | 情報ブック p. 182 |
| 東京 | 6/16 9:45 | 大正大学 10号館 3階1031教室 | 情報ブック p. 183 |
| 新潟 | 6/16 9:45 | 新潟医療福祉カレッジ 2号館 | 情報ブック p. 185 |
| 長岡 | 6/15 13:30 | 長岡こども福祉カレッジ 2号館 | 情報ブック p. 186 |
| 大阪 | 6/15 13:30 | 関西大学 天六学舎 4階404教室 | 情報ブック p. 187 |
| 広島 | 6/15 13:30 | RCC文化センター 6階606号室 | 情報ブック p. 188 |
| 福岡 | 6/16 9:45 | ももちパレス 本館 3階視聴覚教室 | 情報ブック p. 188 |
| 那覇 | 6/15 13:30 | 沖縄県青年会館 3階守礼の間 | 情報ブック p. 188 |

6/15(土) 実施会場時間割

13：30集合

| | |
|-------------|-------|
| 13：45～14：30 | 1 科目め |
| 14：30～15：15 | 2 科目め |
| 15：15～16：00 | 3 科目め |
| 16：00～16：45 | 4 科目め |

6/16(日) 実施会場時間割

9：45集合

| | |
|-------------|-------|
| 10：00～10：45 | 1 科目め |
| 10：45～11：30 | 2 科目め |
| 11：30～12：15 | 3 科目め |
| 12：15～13：00 | 4 科目め |

6/16(日) 仙台特会場時間割

14：45集合

| | |
|-------------|-------|
| 15：00～15：45 | 1 科目め |
| 15：45～16：30 | 2 科目め |
| 16：30～17：15 | 3 科目め |
| 17：15～18：00 | 4 科目め |

※当日のスクーリング受講者のみ受験可

2 科目修了試験の受験申込み

今回はじめて受験する方は、『学習の手引き』7章もご一読いただいたうえでお申込みください。

| 試験実施日 | 申込締切・レポート締切日 | 受験許可証到着予定日 | 結果通知ハガキ発送予定日 |
|---------------|------------------------------------|--|--------------|
| 6/15(土)・16(日) | 5/29(水)必着 (または、5/25 (土)消印有効) | 6/5(水) ※6/5までに届かない場合は 6/6午前中までに通信教育部 までご連絡ください。 | 7/16(火) |

※受験科目の追加、会場の変更は5/30(木)午前まで受け付けます。

※会場の都合で受験ができなくなった場合は、何らかの代替の手段で受験ができるように配慮いたします。

3 科目修了試験に関するご案内

- 申込・受験上の留意点 → 『学習の手引き』7章参照
- 教科書持込許可科目 → 法の基礎（日本国憲法を含む）、人間と宗教、文学入門、歴史を見る眼、福祉社会学、知的障害者福祉論、老年心理学、介護概論、精神保健福祉援助各論、統計情報を見る眼、福祉科の指導法ほか、受験許可証に記載の科目
- 社会教育学科学生への特別在宅試験
→ 『学習の手引き2002-2008◆版』p. 40
- 卒業試験について → 『学習の手引き』7章参照
※6月の卒業試験は、本年9月に卒業を希望する方が受験できます。本年9月に卒業を希望しない方は受験しないでください。
- ご注意
解答用紙は監督者に必ず手渡しをしてお帰りください。

科目修了試験に関する電子メールでのお問い合わせは、ut@tfu-mail.tfu.ac.jp へお願いいたします。ただし、試験結果の照会には応じられません。

※仙台会場では、本学職員による学習相談（個別相談）を受けることができます。希望する方は、当日スタッフまでお申し出ください。

4 / 6 / 1 在宅web科目修了試験

下記要領により、web上での在宅科目修了試験を実施します。

試験実施日時 6 / 1 (土) 9 : 30~10 : 15

実施科目 『学習の手引き』 p. 13(または p. 11) 記載のいずれか 1 科目のみ申込可。

受験資格 ①申込締切日までに必着で申し込む科目の全単位分のレポート提出、その他通常の科目修了試験受験と同じ。ただし、②下記「申込前に行うこと」を申込締切日までに行っていることと、TFUオンデマンドの操作ができること、電子メールによりワード添付ファイルがやりとりできることも必要。

申込前に行うこと (必須)

- ①「TFUオンデマンド」のページにアクセスし、『学習の手引き』10章Ⅳ「在宅web科目修了試験」2「申込み前に行うこと (必須)」記載の(1)メールアドレス登録、(2)「デモ版在宅web科目修了試験」の解答を行ってください。
- ②「デモ版在宅web科目修了試験」の2・3問めは「○×式問題」に変更しています。『学習の手引き』10章Ⅵ1～3を読んで解答を行ってください。
- ③3問とも解答したら、最後に、「採点」ボタンを押してください。
- ④「問題別詳細」画面から自分の提出した解答が表示されているかどうか確認ください。1問目の論述式問題について、デモ版では採点表示されません。本番では教員が採点を行い、結果は約1カ月以内に通知されます。

レポート提出・試験申込メール締切 5 / 21(火)正午必着

申込メールの内容

件名 6 / 1 在宅科目修了試験申込

本文 ①6 / 1 在宅科目修了試験申込 ②学籍番号 ③氏名 ④受験科目（1科目のみ） ⑤連絡を希望するメールアドレス ⑥試験時間に連絡が取れる電話番号（携帯）

送信先アドレス uk@tfu-mail.tfu.ac.jp

受験許可通知 5 / 27までに送信先メールあてに通知

試験日時 6 / 1 9 : 30 ~ 10 : 15

※ 解答にあたって、インターネット上のサイトの文章を一文でもコピーして提出した場合、本科目のスクーリング試験が0点になるばかりか、不正行為として処分されます。ご注意ください。なお、試験なので、出典表示は不要です。

試験受験料 試験的な実施のため無料（来年度以降は有料になる可能性があります）

試験採点基準 持込可となり、通常の科目修了試験より厳しくなります
結果通知・成績登録 教員の採点終了後、6 / 30までに「連絡を希望するメールアドレス」へ連絡予定。

その他 6月の会場科目修了試験を受験する科目も申込みが可能です。
結果不明のまま2つ以上の試験を受験した場合、合格の評価が一番先に着いた試験の成績が登録されます。

※その他、『学習の手引き』p. 13(またはp. 11) および10章をお読みいただき、ルールや手続きを了解のうえ受験してください。

スクーリング・アンケートから(2)

●児童・家庭福祉論

- ・子どもの虐待を考えるには、その親のことを考えなければ始まらないということ。それは頭では理解しても、なぜあんな幼い子どもが虐待される世の中なのかと苦しくなった。同じようにこの世に生まれてなぜ同じように生きられないのか、何が私にできるか考えさせられた。
- ・少子化問題について、問題は少子化ではなく、これまで通りの子供数・率を土台にして考えられている様々な政策や考え方だという話を聞き、まさに視点の逆転発想と感動すら覚えました。

●教育心理学

- ・教師は対人援助の専門職であるという言葉が印象に残りました。学習者の疑問と正面から向き合って教育現場に活かせればと思った。
- ・児童虐待について子どもを1人の人間として育てるのにとっても大変ですが、周囲の協力を得なければ育てることはできない、教育のあり方、どの子にも伸びる力があること、その子に合った援助の仕方があることを考え、援助するのが専門職であることを考えさせられました。

●福祉と生活

- ・毎日同じように生活していく中では、なぜかな？とふと立ち止まって考え生活を見直してみることの大切さを学びました。また私たちが直面している社会は、本当に大きな問題をかかえていることを実感し、一人ひとり何ができるかを考えていきたいです。
- ・初回の講義では「人は賃金を得る為に働くんだけ」に視点を持っていくと、ダメになったときに再び就労意欲がわかなくなったりしてしまう。そこを「人は自分又は家族が生きる為に働くんだけ」と切りかえて考えることが大切であることに、納得できた。

●カウンセリング I

- ・どのような対人援助職であっても言えることだが、対象となる人に一人として同じ人間はいない、ということ。“個”としての生き方を尊重することを再度確認することができた。また、対象者に対する予測をするためには、理論と経験が大切だと思うので今後も、学習を深めていきたいと思いました。

※ p. 20・46にも掲載しております。